

伊豆諸島利島から新たに追加・確認されるゾウムシ上科甲虫

小島弘昭

〒243-0034 厚木市船子 1737 東京農業大学昆虫学研究室

Additional records of weevils new or confirmed to the fauna of Toshima Island, the Izu Islands, Japan

Hiroaki KOJIMA

Summary: Weevils newly recorded or confirmed from Toshima Is., the Izu Islands, Tokyo, are reported. Eighteen species are newly recorded from Toshima Is., of which two species, *Amystax fasciatus* Roelofs, 1873 and *Baris ezoensis* Kôno, 1940, are new to the Izu Islands. Resultingly, a total of five families and 56 species of weevils excluding Scolytidae and Platypodidae are recognized from the island.

利島は北伊豆諸島に属し、有人の伊豆諸島中面積 (4.12 km²) は式根島に次ぎ 2 番目に小さい。面積が小さいことに加え、島の大半がツバキ林で覆われることから、より面積の大きい他の伊豆諸島の島々に比べ、調査で訪れる昆虫研究者は少なく、そのファウナの解明はあまり進んでいない。

利島のゾウムシ相については、Morimoto & Miyakawa (1985) による伊豆諸島のゾウムシ上科の報告中でゾウムシ科の 16 種が記録されたのみで、同諸島中もっとも種数が少ない島であった。その後、池田 (1994) は、利島村史中で、オジロアシナガゾウムシ 1 種を記録した。最近、小島・張 (2012) により、同島から 22 種のゾウムシ上科甲虫が新たに記録され、計 3 科 38 種の分布が確認された。小島・張 (2012) の報告は、おもに 9 月に行った調査に基づくもので、春から初夏にかけて調査を行うことで、さらなる種数の増加が見込まれることが示唆されていた。筆者は、2014 年 4 月と 6 月に計 4 日同島を訪問し、ゾウムシ相の調査を行ったところ、伊豆諸島新記録種を含む、利島新記録種を多数確認するとともに、これまで採集記録の少なかった 2 種の分布を確認したので以下に報告する。

なお、採集者名は記録中で記載されているもの以外はすべて筆者が採集し、標本はすべて筆者が保管している。標本を提供頂いた東京農大の小島慶紀、金子直樹、権藤太郎、吉田慧の各氏に厚く御礼申し上げる。また、本調査研究は日本学術振興会科学研究費補助金 (課題番号 24510333) の助成を受けて行われた。

ヒゲナガゾウムシ科 Anthribidae

1. キスジヒゲナガゾウムシ *Aphaulimia deblis* (Sharp, 1891)

1 ex., 宮塚山, 19-VI-2014.

伊豆諸島では、利島と新島ならびに青ヶ島を除く三宅島以南の南伊豆諸島に分布 (妹尾, 1987; 小島, 2014)。利島新記録。

2. キボシメナガヒゲナガゾウムシ *Oxyderes fastigatus* (Jordan, 1924) (Fig. 1)

1 ex., 宮塚山, 22-VIII-2013, 小島慶紀採集。1 ex., うすい郷園地, 19-VI-2014.

伊豆諸島では、南伊豆諸島の御蔵島と八丈島に分布 (妹尾, 1987)。北伊豆諸島からは初記録。利島新記録。

3. ケチビヒョウタンヒゲナガゾウムシ *Valenfriesia wollastoni* (Sharp, 1891) (Fig. 2)

3 exs., 宮塚山, 19-VI-2014.

伊豆諸島からは、最近、御蔵島、神津島からそれぞれ記録されたのみ (亀澤, 2013; Kojima *et al.*, 2014)。利島新記録。

チョッキリゾウムシ科 Rhynchitidae

4. クロケシツブチョッキリ *Auletobius uniformis* (Roelofs, 1874)

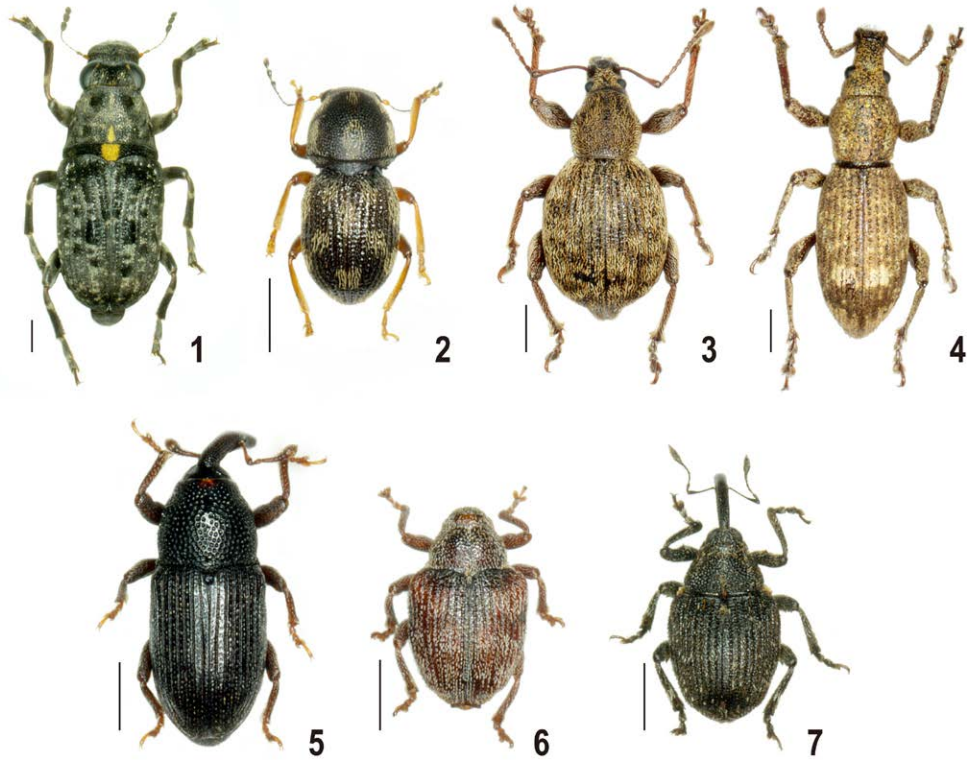
1 ex., 利島村落, 23-VIII-2013, 小島慶紀採集, 筆者保管。

伊豆諸島では、大島、利島、式根島を除く広い地域に分布 (Morimoto & Miyakawa, 1985)。利島新記録。

オサゾウムシ科 Dryophthoridae

5. スギキクイサビゾウムシ *Dryophthorus japonicus* Konishi, 1963

3 exs., 利島村落, 16-IV-2014, 金子直樹採集。



Figs. 1–7. Habitus photographs of weevils newly recorded or confirmed from Toshima Is. and/or the Izu Islands. 1, *Oxyderes fastigatus* (Jordan, 1924); 2, *Valenfrisia wollastoni* (Sharp, 1891); 3, *Arrhaphogaster pilosa* Roelofs, 1873; 4, *Amystax fasciatus* Roelofs, 1873; 5, *Baris ezoana* Kôno, 1940; 6, *Coeliodes amamianus* Yoshitake, 1999; 7, *Sirocalodes umbrinus* (Hustache, 1916). Scale bar = 1 mm.

伊豆諸島では、これまで神津島以南の島々から記録があった (Morimoto & Miyakawa, 1985; Kojima *et al.*, 2014). 利島新記録.

ゾウムシ科 Curculionidae

6. ケバカヒメカタゾウムシ *Arrhaphogaster pilosa* Roelofs, 1873 (Fig. 3)

6 exs., 宮塚山, 16–IV–2014; 4 exs., 19–VI–2014; 24 exs., 利島村落～うすい郷園地, 17–IV–2014; 2 exs., 磯道新地線, 20–VI–2014.

本種は小島・張 (2012) により、2 個体の標本を基に利島から記録された。今回の調査で、島内各所に小規模ながら点在する杉植林地周辺のアジサイ類灌木等から比較的普通で得られた。本種は本土でもそうだが、スギやヒノキの植林地付近で得られることが多い。関東周辺を中心に分布するいわゆるフッサマグナ要素の昆虫と思われるが、原記載地が函館で、関東から離れた石川県や長野県からの比較的古い記録がある (Morimoto & Kojima, 2001)。本種は、他のクチブトゾウムシ類同様、幼

虫が根を食害している可能性が高い。有用樹種であるスギやヒノキは江戸時代以前の古い時代から植林され、苗の移動も行われていたと考えられ、それにともない本種も人為的に移動分散している可能性がある。伊豆諸島にも本来スギは自生していなかったため、本種もスギ苗の移植ともなつて利島や伊豆大島に侵入した可能性が高い。

7. オビモンヒョウタンゾウムシ *Amystax fasciatus* Roelofs, 1873 (Fig. 4)

1 ex., 宮塚山山頂, 16–IV–2014; 3 exs., 19–VI–2014; 5 exs., うすい郷園地, 17–IV–2014.

宮塚山の山頂で得られた個体以外は、ツバキ畑脇の灌木や、植栽整備された公園内のツバキ等常緑樹からケバカヒメカタゾウムシに混じって得られた。利島ならびに伊豆諸島新記録。

8. サカグチクチブトゾウムシ *Oedophrys sakaguchii* (Kôno, 1930)

23 exs., 利島村落, 19–20–VI–2014.

近年伊豆諸島内で分布を拡大している種で、八丈島で発見されて以降、大島、三宅島、御蔵島、青ヶ島で分布が確認された（小島・藤澤, 2011; Kojima, 2011; Kojima & Zhang, 2013a, 2014a). 本種はツバキ科植物を好み、八丈島ではヒサカキの葉を加害し害虫となりつつある（川畑, 2011). ツバキ栽培が基幹産業である利島において、侵入を警戒すべき種であったが、今回の調査により集落近くのツバキ畑で本種の発生が確認された。利島新記録。

9. エノキノミゾウムシ *Orchestes horii* (Kôno, 1937)

40 exs., 利島村落, 17-IV-2014.

伊豆諸島では、これまで大島、新島、三宅島、御蔵島、八丈島から記録がある（Morimoto & Miyakawa, 1985; 小島・藤澤, 2011; Kojima & Zhang, 2013b; 小島・川畑, 2014). 新葉を付けたエノキから得た。黒色個体と上翅が赤褐色になる個体が混じる。利島新記録。

10. アカアシノミゾウムシ *Orchestes sanguinipes* Roelofs, 1874

12 exs., 利島村落, 17-IV-2014.

小島・張 (2012) により、1 個体の標本を基に利島から記録された。伊豆諸島での記録はこれまでのところ利島と新島のみ。新葉を付けたケヤキからまとまった数の個体が得られ、黒色個体と上翅が赤褐色になる個体が混じる。

11. クワヒメゾウムシ *Moreobaris deplanata* (Roelofs, 1875)

13 exs., 利島村落～うすい郷園地, 17-IV-2014; 2 exs., 19-20-VI-2014.

本属は伊豆諸島内で3種に分化しており、大島から式根島までの北伊豆諸島には、本土と共通の本種が分布する（Morimoto & Miyakawa, 1985). 利島新記録。

12. エゾヒメゾウムシ *Baris ezoana* Kôno, 1940 (Fig. 5)

2 exs., 利島村落入口, 17-IV-2014.

ヨモギの根際から採集した。利島ならびに伊豆諸島新記録。

13. アマミオビアカサルゾウムシ *Coeliodes amamianus* Yoshitake, 1999 (Fig. 6)

1 ex., うすい郷園地, 17-IV-2014; 3 exs., 宮塚山, 16-17-IV-2014.

伊豆諸島では、これまで御蔵島からのみ記録が

あった（Yoshitake, 2000). スダジイの花から得られることが知られており、今回、利島では新芽を付けたスダジイから得た。利島新記録。

14. ケマンサルゾウムシ *Sirocalodes umbrinus* (Hustache, 1916) (Fig. 7)

1 ex., 宮塚山, 17-IV-2014, 権藤太郎採集; 1 ex., 吉田慧採集.

伊豆諸島では、これまで御蔵島からのみ記録があった（Kojima & Zhang, 2013a). 利島新記録。

15. アイノカツオゾウムシ *Lixus maculatus* Roelofs, 1873

2 exs., 利島港, 19-VI-2014.

伊豆諸島では、利島と式根島を除く大島から御蔵島に至る地域に分布（Morimoto & Miyakawa, 1985; Kojima & Zhang, 2014a, b). 利島新記録。

16. オリーブアナアキゾウムシ *Pimelocerus perforatus* (Roelofs, 1873)

1 ex., 利島村落, 19-20-VI-2014.

伊豆諸島では、利島と式根島を除く大島から青ヶ島に至る広い地域に分布（Morimoto & Miyakawa, 1985; Kojima, 2011; Kojima & Zhang, 2013a). ハチジョウイボタから得た。利島新記録。

17. クロクチカクシゾウムシ *Catagmatus japonicus* Roelofs, 1875

1 ex., 利島村落～うすい郷園地, 20-VI-2014.

伊豆諸島では、大島から八丈島にかけて広く分布するが（Morimoto & Miyakawa, 1985; Kojima & Zhang, 2013b), 利島は分布空白域となっていた。利島新記録。

18. チャバネクイゾウムシ *Kojimazo lewisii* (Wollaston, 1873)

1 ex., 利島村落～うすい郷園地, 17-IV-2014.

伊豆諸島では、大島から八丈島にかけて広く分布するが（Morimoto & Miyakawa, 1985), 利島は分布空白域となっていた。利島新記録。

19. ホソコブクイゾウムシ *Xenomimetes tenuis* Morimoto & Miyakawa, 1985

1 ex., 宮塚山, 19-VI-2014.

伊豆諸島では、八丈小島を除く神津島以南に分布（Morimoto & Miyakawa, 1985; 小島・川畑, 2014). 利島新記録。

20. ハンノキコブキクイゾウムシ *Xenomimetes alni*
Konishi, 1955
2 exs., 宮塚山, 16-IV-2014.
伊豆諸島では、これまで大島, 新島, 神津島,
三宅島, 御蔵島, 八丈島から記録がある (Morimoto
& Miyakawa, 1985). 利島新記録.

結果および考察

今回の報告によりキクイムシ科およびナガキクイムシ科を除く利島のゾウムシ上科甲虫は5科56種となった。伊豆諸島中同規模の面積を有する青ヶ島 (5.97 km²) や式根島 (3.9 km²) の種数 (それぞれ30種と32種; Kojima, 2011; Kojima & Zhang, 2013b) と比較しても、利島の種数ははるかに多い。伊豆諸島中、利島の次に大きく、約4倍の面積を有する神津島 (18.48 km²) の種数 (63種; Kojima *et al.*, 2014) と比べても、それをやや下回る程度で、利島のゾウムシ相は面積の割に種数が多いと言える。その要因として、伊豆諸島の生物相の重要な供給源の一つとなる本土からの距離が、同諸島中2番目に近いこと。また、利島における噴火活動は有史以降なく、火山活動が停止してからの時間が御蔵島と同様長いこと (気象庁, 全国の活火山の活動履歴等), 植生が噴火の影響を受けることなく残されていることなどが考えられる。

さらに、利島は地理的に北伊豆諸島に属するため、ゾウムシ相は基本的に本土や北伊豆諸島に生息する種との共通性が強い。しかし、北伊豆諸島の中でも南伊豆諸島との共通種の割合が少ないという特徴も見られる。例えば、キボシメナガヒゲナガゾウムシやササセマルヒゲナガゾウムシ、ケチビヒョウタンヒゲナガゾウムシ、シイシギゾウムシ、アマミオビアカサルゾウムシ、ホソコブキクイゾウムシなどは、伊豆諸島では神津島から三宅島以南の南伊豆諸島からのみ記録がある種で、今のところ他の北伊豆諸島 (大島や新島, 式根島) には分布しない。

このように、利島におけるゾウムシ類の多様性はこれまで考えられていた以上に高いことが明らかとなってきた。また、利島のゾウムシ相は、北伊豆諸島の要素に加え、南伊豆諸島の要素も少なからず合わせ持っていることが、面積の割に種数が多い要因の一つとなっている可能性も示唆された。利島は、北伊豆諸島の中でも唯一有史以降の噴火活動がない島で、植生とともに昆虫相もその影響を受けず温存されてきている可能性があり、伊豆諸島の昆虫相を考える上でも、さらには保全

上も重要な地域となりえる可能性を秘めており、さまざまな分類群で調査研究が早急に進展することを願っている。

引用文献

- 池田昭彦, 1994. 動植物目録. 利島村 (編集), 利島村史 研究・資料編: 281-337.
 亀澤 洋, 2013. 伊豆諸島御蔵島でケチビヒョウタンヒゲナガゾウムシを採集. 月刊むし, (509): 47.
 川畑喜照, 2011. 伊豆諸島八丈島の甲虫 VIII. 神奈川虫報, (173): 53-62.
 気象庁, 全国の活火山の活動履歴等. <http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/vol_know.html#rireki> (2014年7月アクセス)
 Kojima, H., 2011. Record of some weevils new to the fauna of Hachijō-jima and Aogashima Islands, the Izu Islands, Japan. *Elytra*, (n. ser.), 1: 341-342.
 Kojima, H., 2012a. Additional record of weevils new to the fauna of Izu-Ōshima Island, the Izu Islands, Japan (Coleoptera, Curculionoidea). *Elytra*, (n. ser.), 2: 144.
 Kojima, H., 2012b. Additional record of weevils new to the fauna of Hachijō-jima Island, the Izu Islands, Japan (Coleoptera, Curculionoidea). *Elytra*, (n. ser.), 2: 150.
 小島弘昭, 2014. 伊豆諸島八丈小島のゾウムシ上科甲虫. さやばねニューシリーズ, (14): 34-36.
 小島弘昭・藤澤侑典, 2011. 伊豆大島から新たに記録されるゾウムシ上科甲虫. さやばねニューシリーズ, (4): 9-11.
 小島弘昭・川畑喜照, 2014. 伊豆諸島八丈島産ゾウムシ上科の分布資料. さやばねニューシリーズ, (14): 37-40.
 小島弘昭・張 辰南, 2012. 伊豆諸島利島から新たに記録されるゾウムシ上科甲虫. さやばねニューシリーズ, (8): 17-19.
 Kojima, H. & C. Zhang, 2013a. Weevils newly recorded or confirmed from Mikura-jima Is., the Izu Islands, Japan. *Elytra*, (n. ser.), 3: 179-181.
 Kojima, H. & C. Zhang, 2013b. Curculionid beetles (Coleoptera) newly recorded from Niihima and Shikine-jima Islands, the Izu Islands, Japan. *Elytra*, (n. ser.), 3: 183-184.
 Kojima, H. & C. Zhang, 2014a. Additional records of weevils new to the fauna of Miyake-jima Island, the Izu Islands, Japan (Coleoptera, Curculionoidea). *Elytra*, (n. ser.), 4: 3-4.
 Kojima, H. & C. Zhang, 2014b. Additional records of weevils new to the fauna of Mikura-jima Island, the Izu Islands, Japan (Coleoptera, Curculionoidea). *Elytra*, (n. ser.), 4: 33-34.
 Kojima, H., C. Zhang & S. Obata, 2014. Additional records of weevils new to the fauna of Kōzushima Island, the Izu Islands, Japan (Coleoptera, Curculionoidea). *Elytra*, (n. ser.), 4: 41-42.
 Morimoto, K. & H. Kojima, 2001. Isopterina, a new subtribe of the tribe Celeuthetini, with notes on the related taxa (Coleoptera, Curculionidae). *Elytra*, 29: 265-283.
 Morimoto, K. & S. Miyakawa, 1985. Weevil fauna of the Izu Islands, Japan. *Mushi*, (50): 19-85.
 妹尾俊男, 1987. 東京都に生息するヒゲナガゾウムシ科甲虫について (I). 中央大学付属高等学校 教育・研究, (1): 73-82.
 Yoshitake, H., 2000. Additional records of *Coeliodes amamianus* Yoshitake (Coleoptera, Curculionidae, Ceutorhynchinae). *Elytra*, 28: 43-44.

(2014年7月14日受領, 2014年8月22日受理)